

# 子供に興味づけする方法

ちょっと披露Ver.

## モンテッソーリ教育

「子どもはすべてのことができるように  
生まれてくるのです。

もし、できないことがあるとすれば、

物理的に不可能な環境にあるか  
どうすればいいのか  
やり方がわからないだけなのです。」

これは、イタリア初の女性医師であり、  
モンテッソーリ教育の産みの親である  
マリア・モンテッソーリの言葉です。

子どもは、興味を持つ時期が決まっています。  
そこに合わせて、出来る方法を導くことが大切です。

なので、6歳児までの幼児で最も大切になってきます。

詳しくは、調べて頂ければと思いますが、  
乳児はまず、「目でモノを追う」ことに興味を持ちます。

だから、「いない、ばあ」だったり、  
ベビーベットにくるくる回るおもちゃ（モビール）があるんです。

もう少し大きくなると  
物を投げます。

何でも投げます。

これは、腕から手にかけての動きを練習です。

## 「自分でモノが遠くに投げられる」

ことが楽しくて、でも、上手く出来なくて・・・。

ティッシュを引き出すのも同じことです。

つまんで、引っ張ると、音を出して、出てくる。  
そして、それが永遠と続く。

**だから、6歳までの教育が大切なんです！！**

はい。  
言いたいことは重々、分かっています。

**「もう、うちの子は6歳を過ぎているんだけど・・・。」**

モンテッソーリ教育で、  
成長サイクルを次のように唱えています。

1. 子どもは今、置かれている環境に**興味・関心**を持つ。
2. 今の自分を成長させてくれる活動を**自分で選択**する。
3. その活動に**集中して繰り返す**。
4. それにより、上達して**満足感、達成感**を得る。
5. 活動が上手になり、生きていくのに必要な**能力を習得**する。
6. この一連のプロセスによって、「自分でできた」という**達成感**を得る。

興味の移り変わりがあると言われてますが、  
6歳までが、著しく、出来る事が変わり、  
それに伴って、興味が移り変わるので、  
大切だと言われています。

つまり、適時教育。

前置きが長くなりました。

## では、6歳以降の適時教育とは？

モンテッソーリの教え通りに、  
私も科学館ボランティアで小学生を相手にしていたので、  
研究しました。

それで、小学生～中学生での適時教育を  
見つけました。

まず、小学生低学年になると

「自分が○○○○○よくなる」  
ことに興味を持ちます。

それがゲームかも知れないし、  
スポーツかも知れないし、  
芸術かも知れない。

なので、小学生の特に低学年には

「  
」

を聞いてあげて、

「それを○○○○○るか」  
を教えてあげると良いです。

例えば・・・

<本編をお楽しみに♪>

次に、高学年になってくると・・・

<本編をお楽しみに♪>

さて、中学生になると・・・

<本編をお楽しみに♪>

言うまでもないが、成長速度は  
人それぞれです。

しかし、必ず、成長します。  
必ず、この順序で成長します。

<中略>

「もう中学生なのに、○○を知らないことだらけなんだけど・・・」

とは思わないで、もう少し見守ってあげて下さい。

また、他の事では、既に○○しているのならば、  
私が科学から他教科へ興味づけをしたように  
その事から興味が広がるかも知れません。

# まとめ

小学生低学年は 自分がしたい事が○○○○○○○○に興味を持つ

→ ○○○○を聞いて、それを○○させる。

小学生高学年は ルールを○○する事に興味を持つ

→ 「何故？」に答えてあげる。

自分では難しいならば、○○○に導く。

中学生では ルールを○○・○○する事に興味を持つ

→ 知っている事ならば、知ったかぶりして、  
知らない事ならば、○○○○○○○○事を

「じゃ、○○はどう言う事？」と○○に導いたり、

「ここを△△したらどうなるのかな？」と○○に導く。

# ヨコミネ式教育

ヨコミネ式教育は、個人的には、  
大人は凄いと思う教育方法と言う印象です。

ズバリで、学習を興味づけをさせる方法を唱えています。

動画でも話しておりますが、

- 子どもは競争したがる
- 子どもはマネしたがる
- 子どもはちょっとだけ難しいことをしたがる
- 子どもは認められたがる

これらを応用して子どものスイッチを入れさせて  
絶対音感や暗算や逆立ちなどを高確率で出来るようにさせる。

しかも、幼稚園児で！！

色々出来る子になるに越した事はないのだが、

個人的には、この教育に

**子どもが付いていくのは大変そう。**

しかし、卒園者は小学1年生ながら、

- 宿題は黙々とする。
- 自分のことは自分です。  
(特に学校の準備)
- 興味あることはトコトンする。

と言う言葉が多いようです。

ただ、耐えられない子供も少なからずいる。

(\*´-`)

とは言え・・・

幼稚園児の方が、吸収が早いということもあるが、  
小・中学生でも、まだまだ大人よりは吸収力は  
数十倍あるものだ。

## これを使わない手はない。

またまた、前置きが長くなりましたが、  
これらも応用しようと思い、勉強しました。

## これによって、興味づけは断然楽になる！！

では、具体的にどう応用すればいいのか？

### ● 子どもは競争したがる

学校では、同級生が多いので、競争する相手がいっぱいいるが、  
家庭となると、子供なんて、兄弟しかいない。

年齢と興味が似ていれば、兄弟・姉妹と競争しても良いが、  
そもそも競争が嫌いなことも居る。

これらの判断は、**パーソナルシード** というもので  
高確率で当てることができる。

(詳しくは第3話で説明します。)

では、家庭では、どうするのが良いのか？

○○と競争させる。

「今日は、                    できたね。  
今日も、                    だったら、○○でできるかな？」

<本編をお楽しみに♪>

このような言葉がけを試してみはどうだろうか？

## ● 子どもはマネしたがる

これは、家庭では難しい。

子供と同じ興味も持っていれば、良いのだが、

「奥さん似ていて・・・」

「旦那に似ていて・・・」

とマネする相手が近くにいない場合は、  
せっかく興味があることのマネができない。

出来るのならば、  
科学館教室に行くなり、  
図書館に行かせるなりすれば良いのだが、  
供働きとかになると、  
難しいものもある。

そんな時は○○をマネさせる。

<本編をお楽しみに♪>

## ● 子どもはちょっとだけ難しい事をしたがる

## ● 子どもは認められたがる

今できる事を認めて、少し難しい次の課題を与える。

先ほどのモンテッソーリ教育で、出来ることが遅れているようならば、  
○○したことを褒めて、○○○○を考えるように○○ことはかなり効果的です。

課題の広げ方は深くするか横に広げるかで十分です。

実例で言えば、  
”植物のつくり”を学んだのならば、

1つの植物を掘り下げて「これはどうなっているの？」  
と深く掘り下げるのか

じゃ、果物と野菜のつくりは？  
と少し広くするかである。

注意して欲しいのが、  
「ちょっとだけ難しい事」である。

いきなり、小学生相手に、「じゃ、被子植物と裸子植物の違いを調べてみよう」  
なんて言っても、大抵の子供は付いていけない。

しかし、逆に「根っこってどんな役割？」と既に習ったであろう事に  
導いてもつまらなくなるだろう。

ここで気づいたかも知れないが、

このヨコミネ式教育の4つを全て満たす可能性があるのが、

○○○○も**共に**○○○○へ

ほぼ○○○○○○**事**です。

「そんなことは分かっているんだけど、時間がないし、しんどいし・・・。」

その気持ち、すごく分かりますが、  
少しの間、頑張ってみてください。

興味づけに成功すれば、  
子どもは自分で課題を見つけるようになります。

あなたも「宿題しなさい」「早く勉強しなさい」だとか、  
言いたくのに、口うるさく言う必要がなくなり、  
**精神的にも、時間的にも余裕が生まれます。**

お子様に**自転車の乗り方**を  
必死になって教えませんでしたか？

では・・・

## スピードの出し方

### 片手運転

### 立ち漕ぎ

の練習を教えた記憶はありますか？

お子様は、マンガを読んだら、同じようなジャンルのマンガを欲しがりませんか？

部活に熱中していたら、いつ間にか、  
自分よりもその部活について詳しくなっていませんか？

あな自身が同じようなマンガを進めたり、その部活に関する事を指導した  
と言う方は少ないと思います。

確かに、友人からの勧められたマンガだったり、部活の顧問が必死に指導してくれたかも知れませんが、少なからず、**自主的な活動**があったはずです。

子どもが**興味あることに自らで気付いて**、  
次の**課題を見つけ**  
その課題に向かって**進む道を切り開けて行く**ようになれば、

既に、あなたは私と同じように「**学びへの興味づけ**」をすることに成功しています。

そんな方は、今後の動画で、答え合わせをして頂ければと思います。

この『**子供に興味づけをする方法**』の **～完全版～**  
『**科学への興味づけ 5つの厳選ネタ集**』

の2大無料特典プレゼントのついた

5 Step 無料Web講座のお申し込みはこちらから

↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓

<https://my141p.com/p/r/FRQ1wTMe>

学びへの興味づけ 0→1→9メソッド  
上田 瞬